

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2002年 8月28日

出願番号

Application Number:

特願2002-248563

[ST.10/C]:

[JP2002-248563]

出願人

Applicant(s):

カシオ計算機株式会社

2003年 6月10日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3045039

【書類名】 特許願

【整理番号】 01-0343-00

【提出日】 平成14年 8月28日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 5/91

【発明者】

【住所又は居所】 東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ計算機株式会社  
社 羽村技術センター内

【氏名】 村田 嘉行

【特許出願人】

【識別番号】 000001443

【氏名又は名称】 カシオ計算機株式会社

【代理人】

【識別番号】 100090033

【弁理士】

【氏名又は名称】 荒船 博司

【選任した代理人】

【識別番号】 100093045

【弁理士】

【氏名又は名称】 荒船 良男

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 027188

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 取材支援装置及び取材用携帯端末装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

取材対象場所に近い位置を検出する位置検出手段と、  
この位置検出手段により検出された位置の近傍に携帯端末が現存しているか否かを検出する携帯端末現存検出手段と、  
この携帯端末現存検出手段により前記近傍に現存している携帯端末に向けて取材依頼情報を送信する送信手段と、  
この送信手段により送信された取材依頼情報に対応した取材情報を受信する受信手段と、  
を備えていることを特徴とする取材支援装置。

【請求項 2】

ネットワークを介して複数の携帯端末と接続されている取材支援装置において、  
前記複数の携帯端末のなかから一つの第 1 の携帯端末からの特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を受信する第 1 の受信手段と、  
この第 1 の受信手段により受信された現在の状況に関する状況情報の配信要求に対応する特定場所の近傍に前記第 1 の携帯端末以外の第 2 の携帯端末が現存しているか否かを検出する携帯端末現存検出手段と、  
この携帯端末現存検出手段により前記近傍に現存している第 2 の携帯端末に向けて現在の状況に関する取材依頼情報を送信する送信手段と、  
この送信手段により送信された取材依頼情報に対応した取材情報を前記第 2 の携帯端末から受信する第 2 の受信手段と、  
を備えていることを特徴とする取材支援装置。

【請求項 3】

前記第 2 の受信手段により受信された現在の状況に関する取材情報に対応する報償金に関するデータを前記第 2 の携帯端末に向けて送信するように制御する第 1 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 2 記載の取材支援装置。

【請求項 4】

前記受信手段により受信された取材情報に基づいて編集された編集内容を取材者端末および配信契約者端末のうち少なくとも一方に配信する配信手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 記載の取材支援装置。

【請求項 5】

前記受信手段により受信された取材情報の価値判断を行い、この取材情報の価値判断結果に応じた報償金の支払い通知を金融機関の端末に向けて行うように制御する第 1 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 記載の取材支援装置。

【請求項 6】

前記受信手段により取材情報を受信するに先だって、インターネット上に取材者募集用ホームページを掲載するように制御する第 2 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 記載の取材支援装置。

【請求項 7】

前記受信手段により取材情報を受信するに先だって、インターネット上に取材者募集用ホームページを掲載した後に、取材希望者の端末から応募された応募データを含む送信データを受信するように制御する第 3 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 記載の取材支援装置。

【請求項 8】

前記受信手段により取材情報を受信するに先だって、インターネット上に取材者募集用ホームページを掲載した後に、取材希望者の端末から応募された応募データを含む送信データに基づいて取材適格を判断し、この判断により取材者登録を行った後、登録者登録済み関連情報を送信するように制御する第 4 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 記載の取材支援装置。

【請求項 9】

前記受信手段により取材情報を受信するに先だって、インターネット上に取材者募集用ホームページを掲載した後に、取材希望者の端末から応募された応募データを含む送信データに基づいて取材適格を判断し、この判断により取材者登録を行った後、取材者登録済み関連情報を送信し、この送信の前後に、登録済み取

材者を含む一般第三者の端末からの取材対象情報を受信するように制御する第 5 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 記載の取材支援装置。

【請求項 1 0】

前記受信手段により取材情報を受信するに先だって、インターネット上に取材者募集用ホームページを掲載した後に、取材希望者の端末から応募された応募データを含む送信データに基づいて取材適格を判断し、この判断により取材者登録を行った後、取材者登録済み関連情報を送信し、この送信の前後に、登録済み取材者を含む一般第三者の端末からの取材対象情報を受信するように制御する第 5 の制御手段を更に備えており、

前記位置検出手段は、前記第 5 の制御手段の制御により受信した取材対象情報に対応する場所を前記取材対象場所とし、この取材対象場所に近い位置を検出する位置検出手段を備えていることを特徴とする請求項 1 記載の取材支援装置。

【請求項 1 1】

取材支援端末から送信された取材依頼情報を受信する受信手段と、  
この受信手段により受信された取材依頼情報に従って取材を行い、この取材結果である取材情報を前記取材支援端末に向けて送信する送信手段と、  
を備えていることを特徴とする取材用携帯端末装置。

【請求項 1 2】

ネットワークを介して取材支援端末と接続されている取材用携帯端末装置において、  
特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を送信する送信手段と、  
この送信手段により送信された現在の状況に関する状況情報に対応した取材情報を前記取材支援端末から受信する受信手段と、  
を備えていることを特徴とする取材用携帯端末装置。

【請求項 1 3】

前記受信手段により受信された現在の状況に関する取材情報に対応する対価に関するデータを前記取材支援端末に向けて送信するように制御する第 1 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 2 記載の取材用携帯端末装置。

【請求項 1 4】

前記送信手段により取材情報を送信後、この送信した取材情報に対応した報償金の支払い通知を、金融機関の端末および取材支援端末のうち少なくとも一方から受信するように制御する第 1 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 1 記載の取材用携帯端末装置。

【請求項 1 5】

前記受信手段により取材依頼情報を受信するに先だって、インターネット上に掲載されている取材者募集用ホームページを取材支援端末から受信するように制御する第 2 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 1 記載の取材用携帯端末装置。

【請求項 1 6】

前記受信手段により取材依頼情報を受信するに先だって、インターネット上に掲載されている取材者募集用ホームページを取材支援端末から受信し、この受信された取材者募集用ホームページに従って入力された応募データを取材支援端末に向けて送信するように制御する第 3 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 1 記載の取材用携帯端末装置。

【請求項 1 7】

前記受信手段により取材依頼情報を受信するに先だって、インターネット上に掲載されている取材者募集用ホームページを取材支援端末から受信し、この受信された取材者募集用ホームページに従って入力された応募データと自己の端末の機器情報と併せて取材支援端末に向けて送信するように制御する第 4 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 1 記載の取材用携帯端末装置。

【請求項 1 8】

前記受信手段により取材依頼情報を受信するに先だって、インターネット上に掲載されている取材者募集用ホームページを取材支援端末から受信し、この受信された取材者募集用ホームページに従って入力された応募データを取材支援端末に向けて送信した後、前記取材支援端末から取材者登録済み関連情報を受信するように制御する第 5 の制御手段を更に備えていることを特徴とする請求項 1 1 記載の取材用携帯端末装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、携帯電話、パソコンなどの端末に用いて有用な取材支援装置及び取材用携帯端末装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来技術】

電子新聞をネットワークで供給する電子新聞サーバに、無線により接続された取材端末が有する画像入力手段により取材対象の撮影を行い、画像データを電子新聞サーバに送信する一方で、取材端末の位置情報、取材者が口頭で述べた音声メール形式の記事、取材端末の周辺温度等の環境データを同時に送信し、電子新聞サーバが受信したデータが、編集会議室で検討され、取材者への指示や、他の取材端末を有する取材者への応援依頼や、記事の電子新聞サーバによる発行が行われるようにした取材支援システム及び取材用携帯端末装置が開発されている（例えば、特開平 8 - 3 2 2 0 9 1 号公報）。

この取材支援システム及び取材用携帯端末装置によれば、電子カメラ及びデジタルビデオは、取材現場の状況を映像情報として入力し、デジタル信号とすることが出来、携帯端末が映像情報をサーバに転送することを可能とする。これにより従来携帯端末だけで入力し得る文字による原稿だけではなく、映像情報も入力し、サーバに転送するという、いわゆる基本的な取材機能を達成することが出来る。

【 0 0 0 3 】

また、現在位置検出手段は、取材者の所在地をいちいち取材者自身が言葉により報告することなく、自動的にサーバに報告することが出来、撮影した写真の現場位置や、取材者自身の行動追跡を行うことが出来る。

また、音声入力手段を持つことで、取材者が現場の取材中に、原稿の入力や電話をかけて相手が出るのを待つという時間のロスで、取材のタイミングを逸するということがなく、取材者は撮影しながら現場の状況をしゃべるだけで、通信に気を使うことなく取材に専念することが出来る。

【 0 0 0 4 】

また、サーバは携帯端末から送信された画像情報、音声メール情報、そして携帯端末の位置情報を受信する。サーバ側にいる記者は、この情報を用いて現場状況を判断し、ニュース原稿を作成して即時ニュースとして報道する。また、現場の状況により、現地の取材者に個別に行動指示を送って、例えば他の場所にいる取材者を応援に行かせるといった操作を可能とする。

一方、地域固定方式のライブカメラが知られている。地域固定方式のライブカメラを用いて遠隔地にいる者が遠隔操作で当該地域の現況を見ることを可能とする。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、前述した従来の取材支援システム及び取材用携帯端末装置の場合、取材者は新聞社内のもに限定されているので、殺傷事件、交通事故、火災といった取材対象事象がリアルタイムで変わっていく状況に対応し、迅速かつ確実な取材活動などを行えないという課題があった。

また、地域固定方式のライブカメラの場合、ライブカメラは特定の地域に固定であり、遠隔者にとり有益な撮影画像等を迅速かつ確実に取得できないという課題があった。

【 0 0 0 6 】

そこで、本発明は、殺傷事件、交通事故、火災といった取材対象事象の中から、価値のある有効な取材情報を確保することが可能な、取材支援装置及び取材用携帯端末装置を提供することを目的とする。

また、本発明は、取材対象事象がリアルタイムで変わっていく状況に対応し、全国に所在する取材登録者の中から、取材対象事象の近傍位置に現存する取材者に対し迅速かつ確実な取材活動を依頼することが可能な、取材支援装置及び取材用携帯端末装置を提供することを目的とする。

また、本発明は、特定の地域に存在するカメラ付き携帯電話などの携帯端末の保有者から、有益な撮影画像などの情報を迅速かつ確実に取得できることが可能



な、取材支援装置及び取材用携帯端末装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明は、このような課題を達成するために、次のような特徴を備えている。

【0008】

請求項1記載の発明に係る取材支援装置は、例えば、図1～図9に示すように、取材対象場所に近い位置を検出する位置検出手段（図1のCPU6；ステップ9）と、この位置検出手段により検出された位置の近傍に携帯端末が現存しているか否かを検出する携帯端末現存検出手段（図1のCPU6；ステップ10）と、この携帯端末現存検出手段により前記近傍に現存している携帯端末に向けて取材依頼情報を送信する送信手段（図1の送信部4b；ステップ11）と、この送信手段により送信された取材依頼情報に対応した取材情報を受信する受信手段（図1の受信部4a；ステップ15）と、を備えていることを特徴とする。

請求項2記載の発明に係る取材支援装置は、例えば、ネットワークを介して複数の携帯端末と接続されている取材支援装置において、前記複数の携帯端末のなかから一つの第1の携帯端末からの特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を受信する第1の受信手段と、この第1の受信手段により受信された現在の状況に関する状況情報の配信要求に対応する特定場所の近傍に前記第1の携帯端末以外の第2の携帯端末が現存しているか否かを検出する携帯端末現存検出手段と、この携帯端末現存検出手段により前記近傍に現存している第2の携帯端末に向けて現在の状況に関する取材依頼情報を送信する送信手段と、この送信手段により送信された取材依頼情報に対応した取材情報を前記第2の携帯端末から受信する第2の受信手段と、を備えていることを特徴とする。

【0009】

請求項1記載の発明によれば、取材対象場所に近い位置を検出し、この検出された位置の近傍に携帯端末が現存しているか否かを検出し、この結果、前記近傍に現存している携帯端末に向けて取材依頼情報を送信し、この送信された取材依頼情報に対応した取材情報を受信することができる。

請求項2記載の発明によれば、複数の携帯端末のなかから一つの第1の携帯端

末からの特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を受信し、この受信された現在の状況に関する状況情報の配信要求に対応する特定場所の近傍に前記第 1 の携帯端末以外の第 2 の携帯端末が現存しているか否かを検出し、この結果、前記近傍に現存している第 2 の携帯端末に向けて現在の状況に関する取材依頼情報を送信し、この送信された取材依頼情報に対応した取材情報を前記第 2 の携帯端末から受信することができる。

#### 【 0 0 1 0 】

請求項 1 1 記載の発明に係る取材用携帯端末装置は、取材支援端末から送信された取材依頼情報を受信する受信手段（図 1 の受信部 1 1 a ; ステップ 1 2）と、この受信手段により受信された取材依頼情報に従って取材を行い、この取材結果である取材情報を前記取材支援端末に向けて送信する送信手段（図 1 の送信部 1 1 b ; ステップ 1 3, S 1 4）と、を備えていることを特徴とする。

請求項 1 2 記載の発明に係る取材用携帯端末装置は、ネットワークを介して取材支援端末と接続されている取材用携帯端末装置において、特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を送信する送信手段と、この送信手段により送信された現在の状況に関する状況情報に対応した取材情報を前記取材支援端末から受信する受信手段と、を備えていることを特徴とする。

#### 【 0 0 1 1 】

請求項 1 1 記載の発明によれば、取材支援端末から送信された取材依頼情報を受信し、この受信された取材依頼情報に従って取材を行い、この取材結果である取材情報を前記取材支援端末に向けて送信することができる。

請求項 1 2 記載の発明によれば、特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を送信し、この送信された現在の状況に関する状況情報に対応した取材情報を前記取材支援端末から受信することができる。

#### 【 0 0 1 2 】

#### 【発明の実施の形態】

以下、図 1 ～図 9 を参照して本発明に係る取材支援システムの実施の形態について詳細に説明する。

図 1 は本実施の形態にかかる取材支援システムの全体を示す。

図 1 に示すように、取材支援システム S は、複数の取材者（登録者）端末 1、金融機関端末 2、および、新聞社などの取材支援者のサーバー 3 を、通信手段またはネットワークであるインターネット N を介して接続して構成されている。

#### 【 0 0 1 3 】

取材支援者のサーバー 3 は、各部全体を制御するための CPU 6 を中心として、取材者の取材者端末 1 からインターネット N を介して取材者応募データおよび取材情報等を受信するための受信手段となる受信部 4 a と、この受信部 4 a により受信した取材情報などを記憶するための RAM 5 と、この RAM 5 に記憶された取材情報などに対応した処理結果、および、取材者端末 1・金融機関端末 2 にインターネット N を介して各種のデータ・情報を送信するための送信手段となる送信部 4 b とを備えている。なお、受信部 4 a と送信部 4 b とで通信部 4 が構成されている。

このサーバー 3 は、更に、各種のデータを入力するための入力部 7、各種のデータを表示するための表示部 8、各種のデータを予め格納している ROM 9 を備えている。

#### 【 0 0 1 4 】

また、複数の取材者端末 1 は、各部全体を制御するための CPU 1 0 を中心として、自己の取材者端末 1 から取材支援者のサーバー 3 に向けて取材応募を行った後、取材者登録済み関連情報、取材依頼情報、報償金振込完了情報、および、金融機関端末 2 からの報償金振込完了情報などといった各種の情報を受信するための受信部 1 1 a と、取材支援者のサーバー 3 に向けて取材応募、取材情報などといった各種の情報を、インターネット N を介して送信するための送信部 1 1 b とをそれぞれ備えている。なお、受信部 1 1 a と送信部 1 1 b とで通信部 1 1 が構成されている。

#### 【 0 0 1 5 】

この取材者端末 1 は、更に、各種のデータを入力するための入力部 1 3、各種のデータを表示するための表示部 1 4、各種のデータを予め格納している ROM 1 5 を備えている。

入力部 1 3 は、取材者端末 1 自身の端末識別データを記憶する端末識別データ

記憶部 1 3 a と、取材者端末 1 自身の現在位置を取得するための位置検出機能部 1 3 b、取材者端末 1 の周囲における取材対象を撮影するための撮影機能部 1 3 c、現在の日付、時刻、曜日といった時刻を計時するための時刻計時機能部 1 3 d、取材状況を新聞社に伝達するために使われる取材状況伝達機能部 1 3 e を備えている。

端末識別データ記憶部 1 3 a は、端末の製造番号、電話番号、端末所有者名、端末名義人等の識別データを記憶している。位置検出機能部 1 3 a は、内蔵されている G P S、または携帯端末と基地局との通信状況から自己の現在位置を取得する現在位置取得部などから構成されている。撮影機能部 1 3 b は、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラといった電子的な撮影機能部から構成されている。時刻計時機能部 1 3 c は、内蔵されている時刻計時部または標準電波時計などから構成されている。取材状況伝達機能部 1 3 d は、相手先と音声で通話可能な通話部、ペンなどによる手書き操作で取材情報を入力可能な手書き入力部、キー操作で取材情報を入力可能なキーボード部などから構成されている。

#### 【 0 0 1 6 】

また、金融機関端末 2 は、各部全体を制御するための C P U 2 0 を中心として、サーバー 3 からの報償金支払い依頼などを受信するための受信部 2 1 a と、この受信部 2 1 a から受信した情報などを記憶するための R A M 2 2 と、サーバー 3 からの報償金支払い依頼に対応した報償金を取材者の口座に振り込んだ後、取材者端末 1 及びサーバー 3 のうち少なくとも一方へ振込完了を、インターネット N を介して送信するための送信部 2 1 b とを備えている。なお、受信部 2 1 a と送信部 2 1 b とで通信部 2 1 が構成されている。

この金融機関端末 2 は、更に、各種のデータを入力するための入力部 2 3、各種のデータを表示するための表示部 2 4、各種のデータを予め格納している R O M 2 5 を備えている。

#### 【 0 0 1 7 】

図 3 ( A ) はサーバー 3 に備えられた R O M 9 を示す。この R O M 9 は、取材者募集用 H P 情報記憶領域 9 a、取材者登録済み関連情報記憶領域 9 b、取材対象端末の近傍範囲情報記憶領域 9 c、取材依頼情報記憶領域 9 d、取材期限情報

記憶領域 9 e、および、報償金支払い依頼情報記憶領域 9 f を備えている。

【 0 0 1 8 】

取材者募集用 H P 情報記憶領域 9 a は、取材者募集用の記事内容を記憶している。取材者登録済み関連情報記憶領域 9 b は、取材を応募した者に対して通知する取材者登録済み関連情報を記憶している。近傍範囲情報記憶領域 9 c は、取材対象位置との間の距離を測る際に使われる取材対象端末の近傍範囲情報を記憶している。取材依頼情報記憶領域 9 d は、登録済み取材者に対して取材依頼を行うための情報を記憶している。取材期限情報記憶領域 9 e は、登録済み取材者に対して通知する取材期限の情報を記憶している。この取材期限情報記憶領域 9 e は、新聞記事へ登載するまでに間に合う段階的な複数の時刻と、この段階的な複数の記事登載時刻に応じた報償金とを示す複数の時刻別金額リストを記憶している。段階的な複数の記事登載時刻は、取材対象発生から新聞記事へ登載するまでに間に合う時刻を複数の時間帯に分けたものであり、取材対象発生の初期段階では報償金額は高く、新聞記事へ登載のぎりぎりの段階では報償金額は安くなっている。報償金支払い依頼情報記憶領域 9 f は、金融機関に対して報償金支払いの依頼を行うための情報を記憶している。

【 0 0 1 9 】

図 3 ( B ) は取材者端末 1 に備えられた R O M 1 5 を示す。この R O M 1 5 は、使用機器情報である機器 I D 情報記憶領域 1 5 a、位置検出機能情報記憶領域 1 5 b、撮影機能情報記憶領域 1 5 c、時刻計時機能情報記憶領域 1 5 d、取材状況伝達機能情報記憶領域 1 5 e、および、報償金支払い依頼情報記憶領域 1 5 f を備えている。

【 0 0 2 0 】

機器 I D 情報記憶領域 1 5 a は、取材者端末 1 自体の機器 I D、登録済みの撮影者名または所有者名も含む情報を記憶している。位置検出機能情報記憶領域 1 5 b は、取材者端末 1 に内蔵された G P S などにより、現在の位置または場所（緯度・経度・高度）を検出後、その検出された現在位置・場所を記憶している。撮影機能情報記憶領域 1 5 c は、デジタルカメラまたはビデオカメラなどの機器の種類、機種名などの各種の情報を記憶している。時刻計時機能情報記憶領域 1

5 d は標準電波で時刻を取得するのか、GPSなどの機器を用いて時刻を取得するのかを示すための情報を記憶している。取材状況伝達機能情報記憶領域 1 5 e は、通話、手書き入力、キーボードなどどのような入力手段で取材状況を伝達するのかを示すための情報を記憶している。報償金支払い依頼情報記憶領域 1 5 f は、金融機関に対して報償金支払いの依頼を行うための情報を記憶している。

## 【 0 0 2 1 】

図 4 (A) (B) 及び (C) は取材者端末 1、金融機関端末 2、および、サーバー 3 に備えられた RAM 1 2、RAM 5、RAM 2 2 を示す。

取材者端末 RAM 1 2 は、登録画面記憶領域 1 2 a、取材応募データ記憶領域 1 2 b、使用機器情報である機器 ID 情報記憶領域 1 2 c、位置検出機能情報記憶領域 1 2 d、撮影機能情報記憶領域 1 2 e、時刻計時機能情報記憶領域 1 2 f、取材状況伝達機能情報記憶領域 1 2 g、および、発信時刻記憶領域 1 2 h を備えている。

## 【 0 0 2 2 】

登録画面記憶領域 1 2 a は、登録画面を記憶している。取材応募データ記憶領域 1 2 b は、取材応募に必要なデータを記憶している。また、機器 ID 情報記憶領域 1 2 c は、取材者端末 1 自体の機器 ID、登録済みの撮影者名または所有者名も含む情報を記憶している。位置検出機能情報記憶領域 1 2 d は、取材者端末 1 に内蔵された GPS などにより、現在の位置または場所（緯度・経度・高度）を検出後、その検出された現在位置・場所を記憶している。撮影機能情報記憶領域 1 2 e は、デジタルカメラまたはビデオカメラなどの機器の種類、機種名などの各種の情報を記憶している。時刻計時機能情報記憶領域 1 2 f は標準電波で時刻を取得するのか、GPSなどの機器を用いて時刻を取得するのかを示すための情報を記憶している。取材状況伝達機能情報記憶領域 1 2 g は、通話、手書き入力、キーボードなどどのような入力手段で取材状況を伝達するのかを示すための情報を記憶している。報償金支払い依頼情報記憶領域 1 2 h は、金融機関に対して報償金支払いの依頼を行うための情報を記憶している。

## 【 0 0 2 3 】

サーバー RAM 5 は、金融機関契約情報記憶領域 5 a、取材者募集用 HP 情報

記憶領域 5 b、取材者登録別関連情報記憶領域 5 c、取材対象端末の近傍範囲情報記憶領域 5 d、取材依頼情報記憶領域 5 e、取材期限情報記憶領域 5 f、および、報償金支払い依頼情報記憶領域 5 g を備えている。

#### 【 0 0 2 4 】

金融機関契約情報記憶領域 5 a は、金融機関との間で取り交わされる契約情報を記憶する。取材者募集用 H P 情報記憶領域 5 b は、取材者募集用の記事内容を記憶する。取材者登録別関連情報記憶領域 5 c は、取材者として登録された取材者登録別の関連情報（例えば、登録者端末 1 からリアルタイムまたは定期的に送られる現在位置情報である緯度、経度、高度、この取材者を含む一般第三者からリアルタイムまたは定期的に送られてくる取材対象情報）を記憶する。近傍範囲情報記憶領域 5 d は、取材対象位置との間の距離を測る際に使われる取材対象端末の近傍範囲情報を記憶する。取材依頼情報記憶領域 5 e は、登録済み取材者に対して取材依頼を行うための情報を記憶する。取材期限情報記憶領域 5 f は、登録済み取材者に対して通知する取材期限の情報を記憶する。この取材期限情報記憶領域 5 g、新聞記事へ登載するまでに間に合う段階的な複数の時刻と、この段階的な複数の記事登載時刻に応じた報償金とを示す複数の時刻別金額リストを記憶する。段階的な複数の記事登載時刻は、取材対象発生から新聞記事へ登載するまでに間に合う時刻を複数の時間帯に分けたものであり、取材対象発生の初期段階では報償金額は高く、新聞記事へ登載のぎりぎりの段階では報償金額は安くなっている。報償金支払い依頼情報記憶領域 5 h は、金融機関に対して報償金支払いの依頼を行うための情報を記憶する。

#### 【 0 0 2 5 】

金融機関端末 R A M 2 2 は、新聞社契約情報記憶領域 2 2 a、報償金支払い依頼情報記憶領域 2 2 b、報償金振込情報記憶領域 2 2 c を備えている。

新聞社契約情報記憶領域 2 2 a は、管理用のサーバー（例えば、新聞社）との間で取り交わされる契約情報を記憶する。報償金支払い依頼情報記憶領域 2 2 b は、新聞社から金融機関への報償金支払い依頼情報を記憶する。報償金振込情報記憶領域 2 2 c は、金融機関から取材者の口座への報償金の振込情報を記憶する。

## 【 0 0 2 6 】

図 5 は、取材者端末 1、サーバー 3、金融機関端末 2 における各処理を示す。

まず、サーバー 3 は取材者募集用 H P（ホームページ）をネット上に掲載し、図 6（A）に示すような、登録用フォーマットを表示する（ステップ 1）。そこで、これをネット上で閲覧するため、取材希望者が取材者端末 1 を用いて、インターネット N を介して、サーバー 3 にアクセスすると、サーバー 3 に表示されている登録用フォーマットがインターネット N を介して、サーバー 3 へ送信される（ステップ S 1）。取材者端末 1 は登録用フォーマットを含む登録画面データを受信するとともに、R A M 1 2 内における記憶領域 1 2 a に登録画面データを格納する（ステップ 2）。

取材者端末 1 において登録画面（図 6（A））が表示された後、取材希望者は「取材者募集」の説明に従って、取材希望者名、取材者端末 1 の機種名など記入する。

## 【 0 0 2 7 】

図 6（A）に示すように、受信された登録用フォーマット画像が登録画面として表示部 1 4 に表示されている状態のもと、その登録フォーマット画像の中の「登録する」のソフトボタン 1 4 a がクリック操作されたか否かが C P U 1 0 の働きにより判別される。「登録する」のソフトボタン 1 4 a がクリック操作されたと判別されると、図 6（B）に示すように、確認画面として、登録フォーマット画像が表示部 1 4 に表示される。

そこで、登録フォーマット画像が表示部 1 4 に表示されている状態のもと、その登録フォーマット画像中の「確認」のソフトボタン 1 4 b または「取消」ソフトボタン 1 4 c がクリック操作されたか否かが判別される。もしも、「取消」ソフトボタン 1 4 c がクリック操作されずに、申込を最終的に確認するための「確認」のソフトボタン 1 4 b がクリック操作されたと C P U 1 0 の働きにより判別され、この一連の操作の判定処理が完了する（ステップ S 3）。

## 【 0 0 2 8 】

この一連の操作の判定処理が完了すると、取材者端末 1 は、サーバー 3 へ以下のデータを送信する。すなわち、①応募データ、②使用機器情報、③確認操作時



刻（発信時刻）T1である。①応募データは、今回の募集に対して応募する旨の意思内容であり、②使用機器情報は、取材者端末1のROM15における記憶領域15aまたはRAM12内における記憶領域12cに記憶されている端末ID、位置検出機能またはその有無、撮影機能またはその有無、時刻計時機能またはその有無、取材状況伝達機能またはその有無などであり、更に、③確認操作時刻（発信時刻）T1は、「確認」のソフトボタン14bがクリック操作された時点における確認操作時刻（発信時刻）T1である。

## 【0029】

サーバー3は、S4のステップ後、取材者端末1による応募者からの送信データを受信し、その送信データをRAM12内における記憶領域12bに格納する（ステップS5）。サーバー3は、その後、取材者端末1から送信された送信データとサーバー3における9に予め記憶されている機種名などを比較し、取材者端末1自体が機材として取材適格性を備えているか否かが判別される。取材者端末1自体が機材としての取材適格性を備えていると判別されると、サーバー3は、図7（A）に示すような取材者登録済み画面データを取材者登録済み関連情報として取材者端末1へ送信するとともに、RAM5cへ取材者登録済み関連情報を格納する（ステップS5）。取材者端末1は、サーバー3から送られてきた取材者登録済み関連情報を受信する（ステップ7）。取材者端末1の取材希望者は、図7に示すような取材者登録済み画面データを見ることより自己が取材者として、サーバー3に登録されたことを知ることができる。

## 【0030】

同様な方法で、全国または全世界の人々のうち、多数の取材者端末1からの応募に従って決められた数の取材者がサーバー3に登録されることとなる。これ以降、登録された複数の人々が取材者として取材活動を行うこととなる。

このような取材活動の結果、サーバー3が、取材者端末1を含む一般第三者からの取材対象情報を受信すると、この取材対象情報をRAM12へ格納する（ステップ8）。サーバー3は、その後、一般第三者からの取材対象情報に基づいて取材対象位置を検出する（ステップ9）。取材対象位置は、一般第三者からの取材対象情報に含まれている取材者端末1の現在位置情報により検出される。

サーバー 3 は、その後、一般第三者からの取材対象位置近傍に他の取材者端末 1 が現存するか否かを判別する（ステップ 1 0）。この判別は、一般第三者からの取材対象情報に含まれている取材者端末 1 の現在位置情報と登録済みの取材者端末 1 からリアルタイムまたは定期的にサーバー 3 へ送信されている現在位置情報（取材登録者別関連情報記憶部 5 d に記憶されている現在位置情報）とに基づいて行われる。

取材対象位置近傍に他の取材者端末 1 が現存するか否かを判別は、取材の対象、種類などに応じて異なるが、この実施の形態では、一般第三者からの取材対象情報に含まれている取材者端末 1 の現在位置情報に対応する現在位置から見て、例えば、半径 1 キロメートル以内に現存する他の取材者端末 1 が現存するか否かを判別している。

#### 【 0 0 3 1 】

サーバー 3 による S 1 0 の判別の結果、他の取材者端末 1 がまったく現存していない場合は、一般第三者からの取材対象情報に含まれている取材者端末 1 の現在位置情報に対応する現在位置から見て取材の範囲を拡大し、その拡大された範囲以内に現存する他の取材者端末 1 が現存するまでその判別を続ける。この結果、他の取材者端末 1 が現存することが判別されたならば、サーバー 3 は、現存する取材者端末 1 へ取材依頼情報を送信する（ステップ 1 1）。この取材依頼情報は、例えば、図 7（B）に示すように、依頼内容と取材期限とを含む。

取材者端末 1 は、この取材依頼情報を図 7（B）に示すような取材依頼画面データとして受信する（ステップ 1 2）。この受信の際は、緊急を要するので、取材者端末 1 は、それに備えられている音または振動などの報知部 1 0 0 または表示部 1 4 によるメッセージなどによる取材依頼情報にて報知する。

#### 【 0 0 3 2 】

取材者端末 1 は、この取材依頼情報を確認したら、依頼内容と取材期限とが承諾可能か否かを自己判断し、「承諾」のソフトボタン 1 4 e かまたは「拒否」のソフトボタン 1 4 f をクリック操作する。取材者端末 1 は、「承諾」のソフトボタン 1 4 e または「拒否」ソフトボタン 1 4 f がクリック操作されたか否かを判別する。もしも、「拒否」ソフトボタン 1 4 f がクリック操作されずに、「承

諾」のソフトボタン14 eがクリック操作されたと、CPU10の働きにより判別され、この一連の操作の判定処理が完了する（ステップS12）。

取材者端末1の取材者による取材活動が開始される（ステップ13）。取材活動の結果は、主に、デジタルカメラなどによる取材対象現場の撮影とその取材地名、現場状況の記述である。これらの取材情報は、図8（A）に示す取材者端末1における8の取材画面を確認しながら、撮影画面の12への格納、現場状況の手書きによる記述等を行う。なお、①取材地（位置・地名）、②取材時刻・期間、③取材者名（端末ID・撮影者名）、⑤機材情報は、1の取材者自身が13にて入力して表示部14に表示するようにしても良いが、取材者端末1の15または12に記憶されている記憶情報に基づいて、自動的に表示部14へ表示するようにしても良い。

#### 【0033】

取材者端末1は、S13における取材処理が完了したと思ったならば、図8（B）における「取材確認画面」を確認しながら、「送信」のソフトボタン14 hかまたは「戻る」のソフトボタン14 iかをクリック操作する。取材者端末1の10は、「送信」のソフトボタン14 hまたは「拒否」ソフトボタン14 iがクリック操作されたか否かを判別する。もしも、「戻る」ソフトボタン14 iがクリック操作されずに、「送信」のソフトボタン14 hがクリック操作されたと、CPU10の働きにより判別され、この一連の操作の判定処理が完了する（ステップS13）。

この一連の操作の判定処理が完了（ステップ13における取材処理が完了）すると、S14のステップに移行する。このS14では、①取材情報、②送信操作時刻（発信時刻）T1がサーバー3に向けて送信される。①取材情報は、前述の取材対象現場の撮影、その取材地名、現場状況の記述などである。②送信操作時刻（発信時刻）T1は、図8（B）における「送信」のソフトボタン14 hがクリック操作された時点における取材者端末1の時刻計時機能部の時刻である。

#### 【0034】

サーバー3は、取材者端末1から送信された送信データと発信時刻T2とを受信する（ステップ15）。サーバー3は、受信した送信データと発信時刻T1と

を R A M 9 に格納する。また、サーバー 3 は、取材者端末 2 から送信されたデータが到着した到着時刻 T 2 を記憶した後、取材者端末 1 から受信した内容である取材情報に基づいて記事を編集する。編集結果は、例えば、図 9 (A) の「新聞記事画面例」で示すような画面である。この画面のうち、例えば、「不審船現場の撮影画像」は取材者端末 1 の取材者が撮影した画像であり、「撮影者：甲氏」「時刻」「場所」などは取材者端末 1 から受信した「使用機器情報」に基づく記述内容である。

サーバー 3 は、この編集結果である画面データを、取材者端末 1 を含むすべての配信契約者の端末に向けて送信する（ステップ S 1 6）。配信契約者は、事前に新聞記事のリアルタイムでの配信契約をサーバー 3 との間において締結していた者である。

#### 【 0 0 3 5 】

次に、サーバー 3 は、取材内容・到着時刻などに基づいて、取材情報の価値評価判断を行う。取材内容の良否は、サーバー 3 側での主観的な判断で決めるが、すべての配信契約者の端末に向けて取材情報を送信した後、すべての配信契約者の端末から取材内容の良否アンケートをサーバー 3 へ送り返してもらうシステムとなっているので、この良否アンケートの結果により取材内容の良否も参酌する。もちろん、サーバー側での主観的な判断で決めず、すべての配信契約者の端末に向けて取材情報を送信した後、すべての配信契約者の端末から取材内容の良否アンケートの結果にのみより取材内容の良否を判断しても良い。到着時刻 T 2 は、取材者端末 1 からの取材情報のサーバー 3 への到着時刻であるが、この到着時刻 T 2 が早いほど取材情報の価値評価が高くなる。

サーバー 3 は、このような取材情報の価値評価判断に従って、取材者端末 1 の取材者に対する報償金の支払い金額を決め、この報償金の支払い依頼を金融機関端末 2 へ通知する（ステップ 1 7）。

#### 【 0 0 3 6 】

金融機関端末 2 は、この対応報償金の支払い依頼通知を受信する（ステップ 1 8）と、この依頼通知内容に従った報償金を取材者端末 1 の口座へ振り込むとともに、その報償金の振込完了通知を取材者端末 1 へ送信する（ステップ 1 9）。

報償金の振込完了通知は、例えば、図 9（B）における「報償金振込完了通知画面」であり、「報償金振込完了通知」と「説明文」とである。この場合、報償金の振込完了をサーバー 3 へ送信するようにし、サーバー 3 を経由して、報償金の振込完了を取材者端末 1 へ送信するようにしても良い。

サーバー 3 は、この報償金の振込完了を金融機関端末 2 またはサーバー 3 から受信すると、受信した報償金の振込完了を 1 2 へ格納する（ステップ 2 0）。

#### 【 0 0 3 7 】

この実施の形態では、取材者の端末 1、サーバー 3 および金融機関端末 3 をインターネット N を介して接続しておき、取材対象場所に近い位置を検出し（S 9）、この検出された位置の近傍に携帯端末が現存しているか否かを検出し（S 1 0）、この結果、前記近傍に現存している携帯端末 1 に向けて取材依頼情報を送信し（S 1 1）、この送信された取材依頼情報に対応した取材情報を受信するようにしている（S 1 5）。しかしながら、この実施の形態に限られない。

#### 【 0 0 3 8 】

例えば、ネットワーク N を介して複数の携帯端末 1 と接続されている取材支援装置であるサーバー 3 において、前記複数の携帯端末 1、1 のなかから一つの第 1 の携帯端末 1 からの特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を受信するための第 1 の受信手段である受信部 4 a と、この受信部 4 a により受信された現在の状況に関する状況情報の配信要求に対応する特定場所の近傍に前記第 1 の携帯端末 1 以外の第 2 の携帯端末 1 が現存しているか否かを検出するための携帯端末現存検出手段と、この携帯端末現存検出手段により前記近傍に現存している第 2 の携帯端末に向けて現在の状況に関する取材依頼情報を送信する送信手段と、この送信手段により送信された取材依頼情報に対応した取材情報を前記第 2 の携帯端末から受信する第 2 の受信手段である受信部 4 a とを備えるようにしてもよい。また、前記第 2 の受信手段により受信された現在の状況に関する取材情報に対応する報償金に関するデータを前記第 2 の携帯端末に向けて送信するように制御する第 1 の制御手段を更に備えるようにしても良い。

#### 【 0 0 3 9 】

また、取材支援端末であるサーバー 3 から送信された取材依頼情報を受信する

受信手段である受信部 1 1 a と、この受信部 1 1 a により受信された取材依頼情報に従って取材を行い、この取材結果である取材情報を前記サーバー 3 に向けて送信する送信手段である送信部 1 1 b と、を備えるようにしても良い。また、ネットワーク N を介して取材支援端末であるサーバー 3 と接続されている取材用携帯端末 1 において、特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を送信する送信手段である送信部 1 1 b と、この送信部 1 1 b により送信された現在の状況に関する状況情報に対応した取材情報を前記サーバー 3 から受信する受信手段である受信部 1 1 a とを備えるようにしても良い。

#### 【 0 0 4 0 】

また、この実施の形態では、取材者端末 1、サーバー 3 等の端末は携帯パソコンを用いているが、これに限られず、例えば、PDA、電子手帳、携帯電話などの他の携帯端末または電子機器でも良い。

#### 【 0 0 4 1 】

##### 【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、次のような効果を奏することができる。

請求項 1 記載の発明によれば、取材対象場所に近い位置を検出し、この検出された位置の近傍に携帯端末が現存しているか否かを検出し、この結果、前記近傍に現存している携帯端末に向けて取材依頼情報を送信し、この送信された取材依頼情報に対応した取材情報を受信することができる。

請求項 2 記載の発明によれば、複数の携帯端末のなかから一つの第 1 の携帯端末からの特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を受信し、この受信された現在の状況に関する状況情報の配信要求に対応する特定場所の近傍に前記第 1 の携帯端末以外の第 2 の携帯端末が現存しているか否かを検出し、この結果、前記近傍に現存している第 2 の携帯端末に向けて現在の状況に関する取材依頼情報を送信し、この送信された取材依頼情報に対応した取材情報を前記第 2 の携帯端末から受信することができる。

#### 【 0 0 4 2 】

請求項 1 1 記載の発明によれば、取材支援端末から送信された取材依頼情報を

受信し、この受信された取材依頼情報に従って取材を行い、この取材結果である取材情報を前記取材支援端末に向けて送信することができる。

請求項 1 2 記載の発明によれば、特定場所における現在の状況に関する状況情報の配信要求を送信し、この送信された現在の状況に関する状況情報に対応した取材情報を前記取材支援端末から受信することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態にかかる取材支援システムの全体を示す全体ブロック図である。

【図 2】

取材者端末における入力部を示す図である。

【図 3】

(A) 及び (B) はサーバー及び取材者端末における ROM の構成を示す図である。

【図 4】

(A) (B) 及び (C) は取材者端末、サーバー、及び金融機関端末における RAM の構成を示す図である。

【図 5】

本実施の形態にかかる取材支援システムにおける各端末等の処理を示す図である。

【図 6】

(A) 及び (B) は取材者端末における応募登録画面と確認画面とを示す図である。

【図 7】

(A) 及び (B) は取材者端末における取材者登録済み画面と取材依頼画面とを示す図である。

【図 8】

(A) 及び (B) は取材者端末における取材画面及び取材確認画面を示す図である。

【図 9】

(A) 及び (B) は新聞記事画面例及び報償金振込完了通知画面を示す図である。

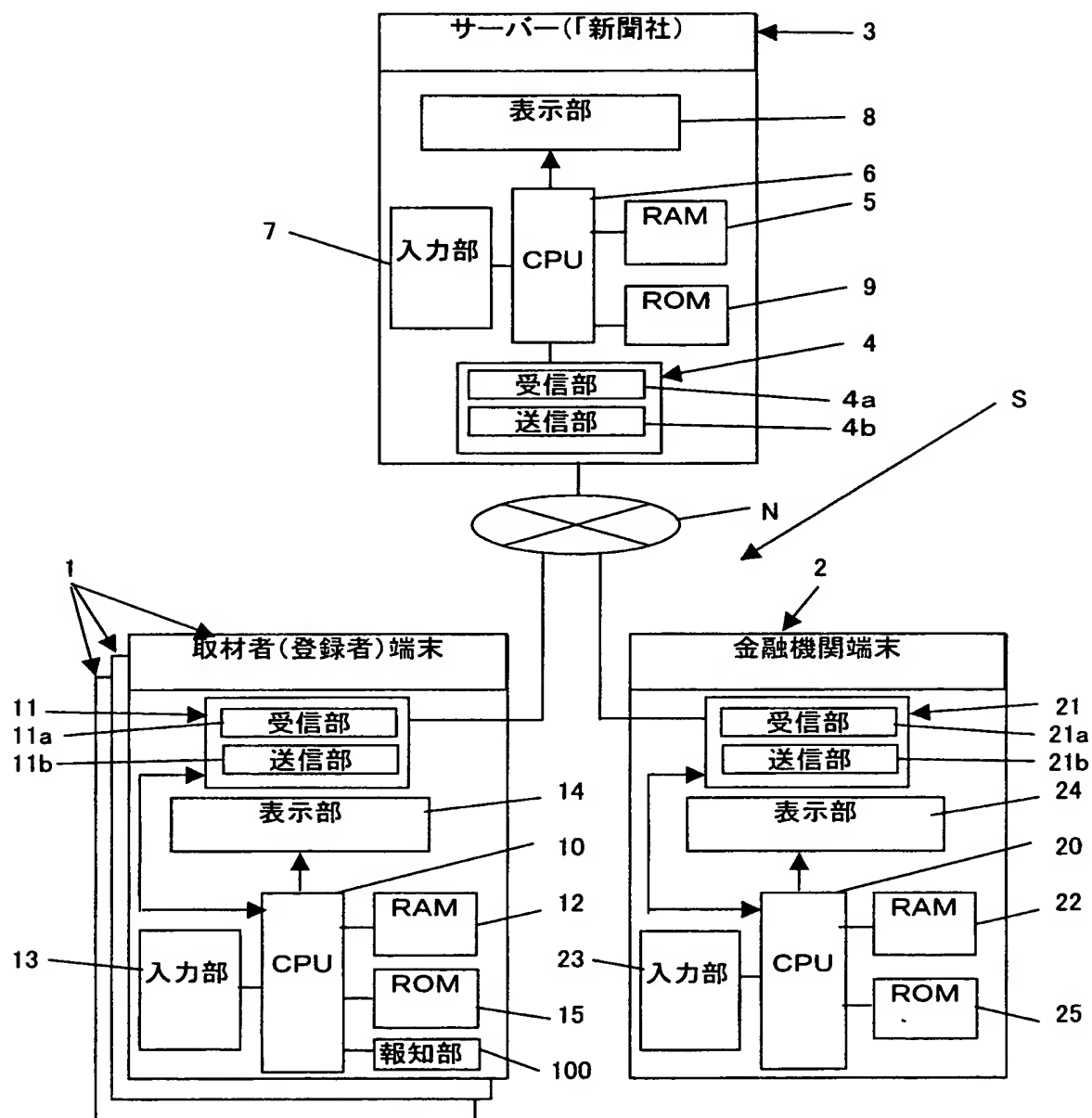
【符号の説明】

1	取材者端末
2	金融機関端末
3	サーバー
4 a	受信部
4 b	送信部
5	R A M
6、1 0、2 0	C P U
7、1 3、2 3	入力部
8、1 4、2 4	表示部
9、1 5、2 5	R O M
N	インターネット

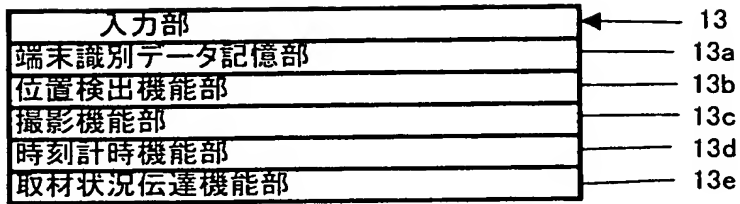


【書類名】 図面

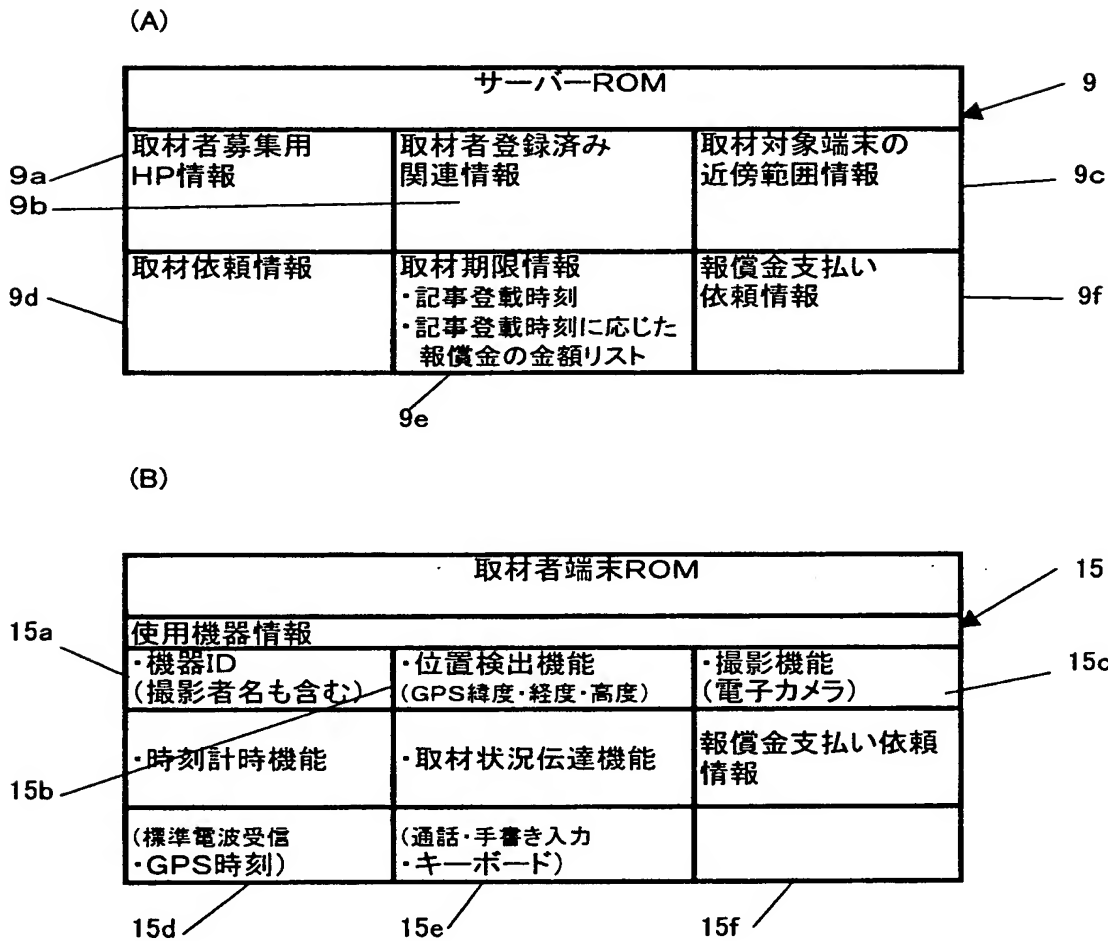
【図 1】



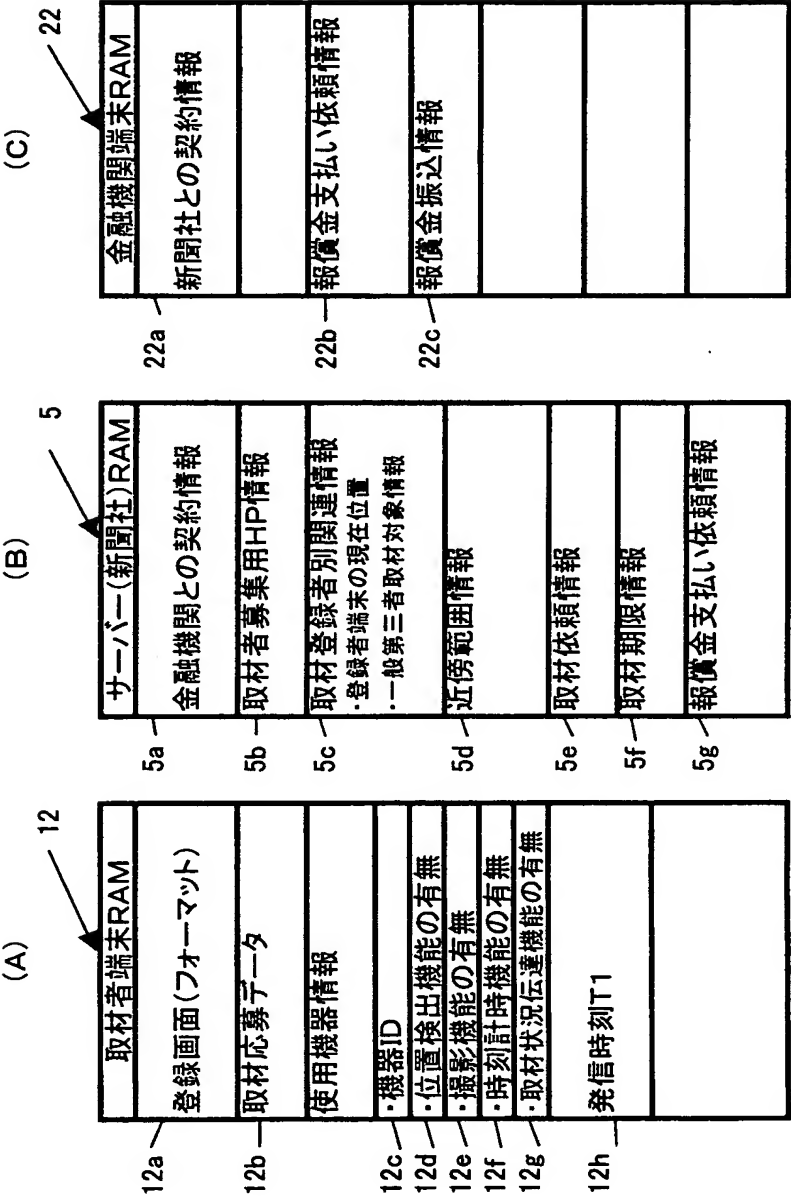
【図 2】



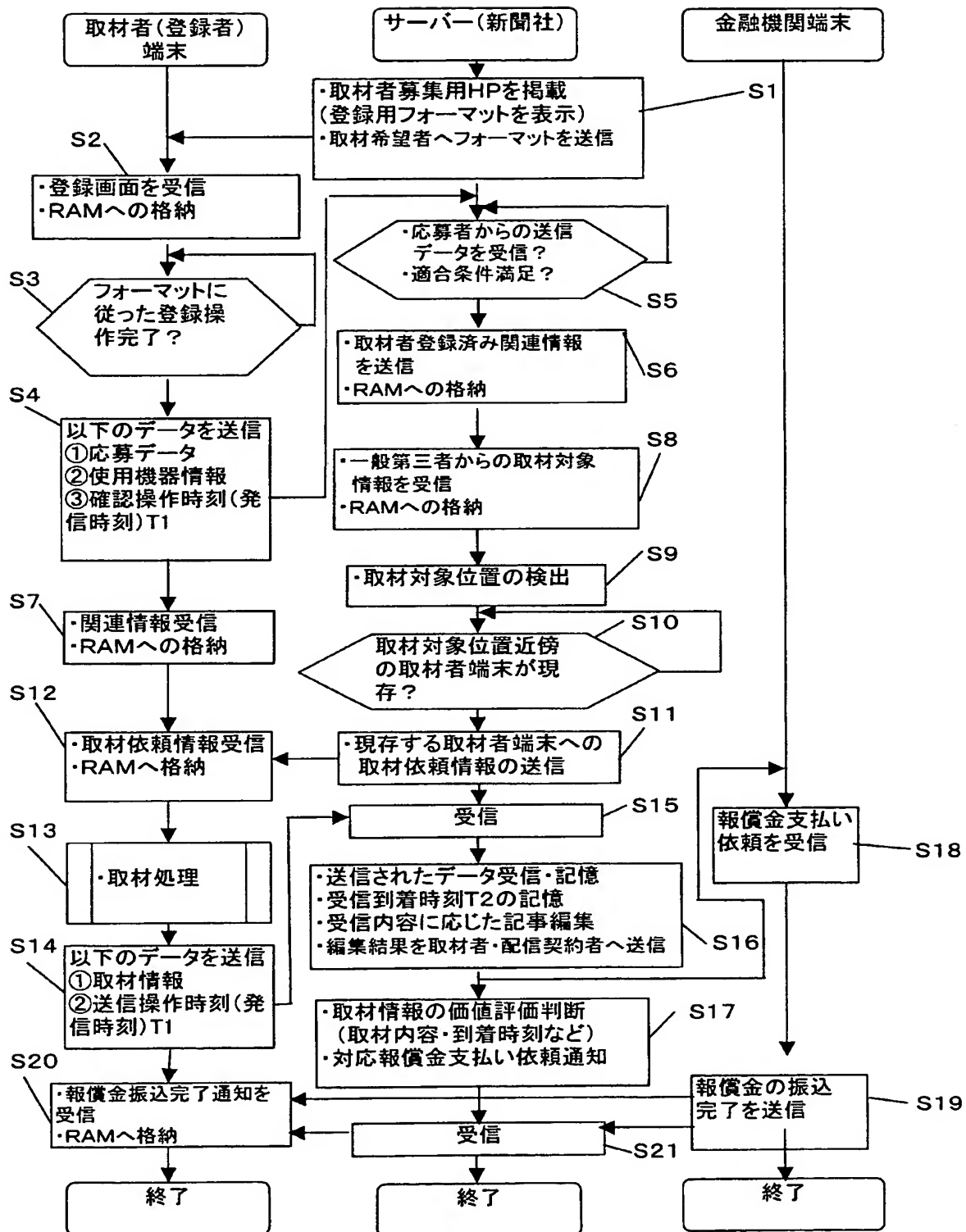
【図 3】



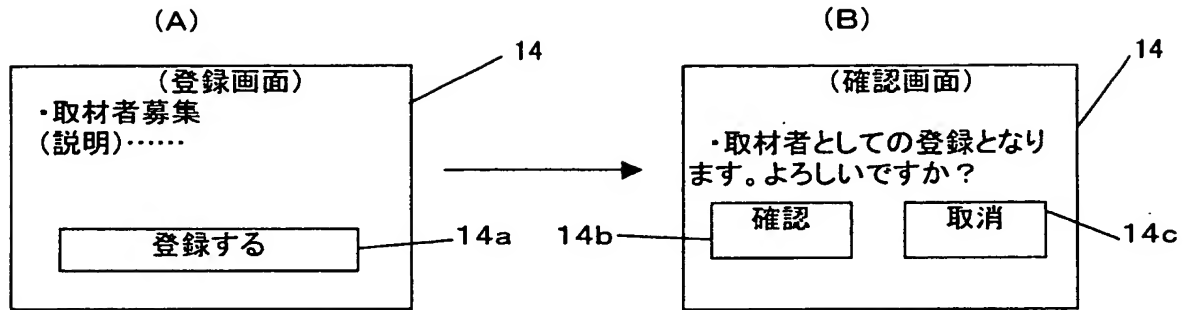
【図 4】



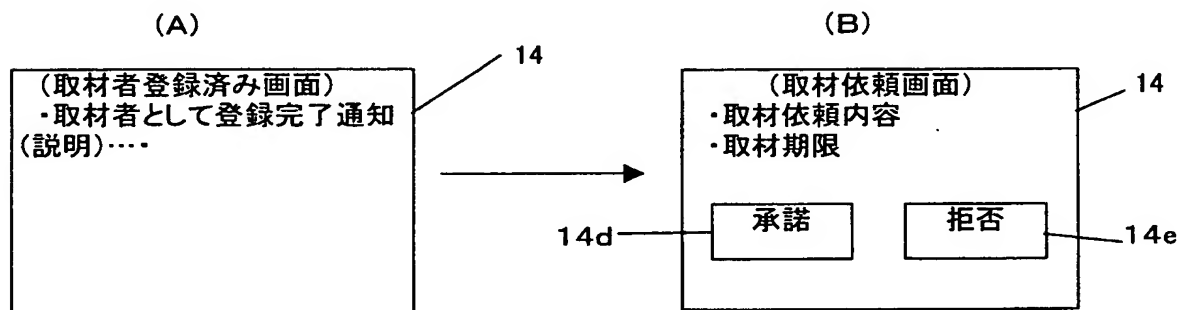
【図 5】



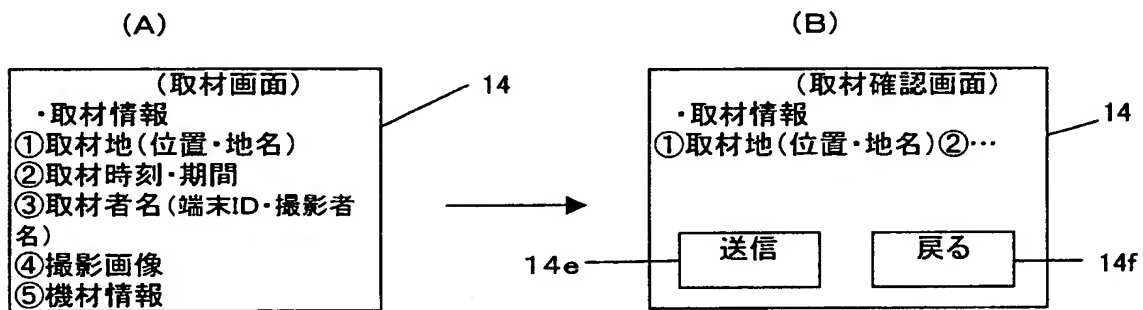
【図 6】



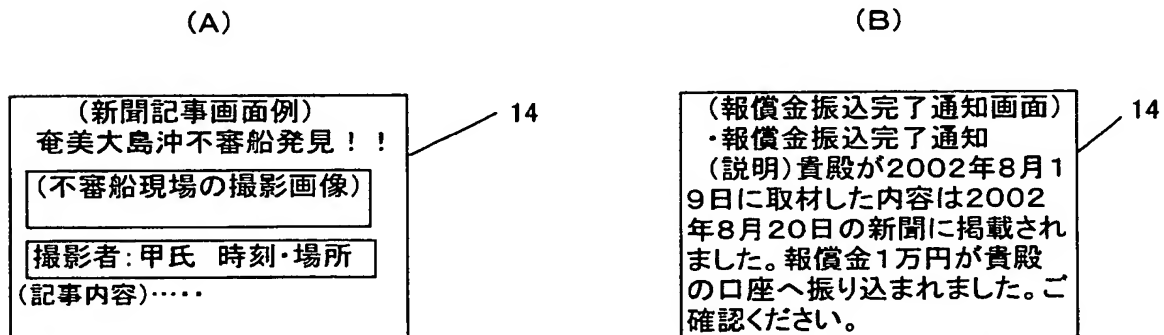
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】            要約書

【要約】

【課題】            取材対象事象の中から、価値のある有効な取材情報を確保することが可能な、取材支援装置及び取材用携帯端末装置を提供することを課題とする。

【解決手段】      サーバー 3 は取材対象場所に近い位置を検出した結果、この検出された位置の近傍に携帯端末 1 が現存しているか否かを検出する。この結果、検出された位置の近傍に携帯端末 1 が現存していると検出された場合は、前記近傍に現存している携帯端末 1 に向けて取材依頼情報を送信する。前記近傍に現存している携帯端末 1 は、この送信された取材依頼情報を受けて、この取材依頼情報に対応した取材を行いその取材に対応した取材情報をサーバー 3 へ送信する。サーバー 3 はこの取材情報に基づき編集し新聞記事等として、予め契約している携帯端末 1 へ配信する。

【選択図】           図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 0 0 0 0 0 1 4 4 3 ]

1. 変更年月日 1 9 9 8 年 1 月 9 日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 東京都渋谷区本町1丁目6番2号  
氏 名 カシオ計算機株式会社